

## NPOとの協働事例

### 【事例5】

|                           |  |       |  |
|---------------------------|--|-------|--|
| 事業名                       | 風と土のフェスティバル（南魚沼のボランティア活動に関する潜在的な資源の発掘発信事業）   |       |  |
| 実施年度                      | 平成18年度   | 協働の形態 | 事業委託・共催  |
| 事業内容                      | <p>○ 南魚沼地域振興局地域振興戦略事業「南魚沼の観光・交流を活性化するボランティアモデル事業」に提案・採択された事業に農林振興部が協働したもの。</p> <p>○ 事業趣旨<br/>古来から地域に根を下ろして住む「土の人」と、そこに外からの刺激をもたらす「風の人」が出会い、つながり、新たな南魚沼の地域づくりのスタート台とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開催期間：平成18年11月25～26日</li> <li>・ 25.26日…都市部からやってきた人々と南魚沼に暮らす人たちが、3つの集落で集い、地域の価値を再発見し、共同活動を行い、地域のビジョンを語り合う。（地元住民との交流、ワークショップ）</li> <li>・ 26日…南魚沼の地域で活動をしている人たちやグループ、一般市民が一堂に会し、お互いの取り組みの紹介、南魚沼の未来などを語り合い、ふれあい、新たな人のつながりを創っていく。<br/>（振興局を会場に合同交流会、地域で活動するグループの活動紹介などを開催）</li> <li>・ 参加団体…20団体</li> </ul> |       |  |
| 協働の相手方                    | 団体名：NPO法人 ECOPLUS  |       | 法人格（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無） |
| 事業費（決算額）                  | 1,000,000円   |       |  |
| 協働に至る経過<br>（協働事業を行ったきっかけ） | <p>【事業企画・提案者】 <input checked="" type="checkbox"/>県 <input checked="" type="checkbox"/>NPO</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南魚沼の観光・交流の活性化を図る民間ボランティアの活動を支援する地域振興戦略事業「南魚沼の観光・交流を活性化するボランティアモデル事業」にNPO法人 ECOPLUS が事業を提案。</li> <li>・ 共通する方向性を持った取り組みを企画していた農林振興部が事業協力することとなった。</li> <li>・ メイン事業となる「風と土のフェスティバル」をNPOと農林振興部が共同開催した。</li> </ul>   |       |  |
|                           | <p>相手先の選定方法（※委託事業の場合のみ）</p> <p><input type="checkbox"/>随意契約 <input checked="" type="checkbox"/>企画コンペ <input type="checkbox"/>競争入札 <input type="checkbox"/>その他（ ）</p>   |       |  |
| 役割分担                      | <p>県：全体の企画運営に参画。2日目の「つながる祭り」は県が主体となって企画運営。一堂に会する各活動グループなどへの呼びかけ、コーディネート、会場設営（振興局講堂）など。広報はNPOと手分けして実施。</p> <p>NPO：全体の企画運営。「風と土のフェスティバル」1日目の3集落での活動の企画運営。都市部のボランティアへの広報、とりまとめなど。</p>   |       |  |
| 協働事業の成果                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 枠組みを超えたいろいろなつながりができ、大きな力が生まれた。</li> <li>・ 持続可能な社会実現へのビジョンを共有できた。</li> <li>・ 事業目的が達成された</li> <li>・ NPOの特性が十分に発揮された</li> <li>・ 単独実施よりも高い成果が得られた</li> <li>・ コスト低減又はサービスの向上が図られた</li> </ul>   |       |  |

|               |  |
|---------------|--|
| 課 題           | <p>○ひとつの成果となった「風と土のフェスティバル」にどのように継続性をもたせ南魚沼の新たなネットワークとボランティア活動を通じて持続可能な未来に向けた地域づくりを進めていくかが課題である。</p> <p>○事業実施報告等でとくに経費報告の資料が細かく膨大で、NPOは大きな負担を強いられ、また行政側も同様に多くの事務量を負うこととなった。こうした部分へのエネルギーを極力少なくし、そのエネルギーを地域振興そのものへと向けられるようにするため、事務の簡素化が必要である。</p> |
| 今後の協働事業実施の可能性 | <p>お互いの持つ力を活かし合うことで大きな成果をあげることができる。また異質なものがつながることで生まれるいきいきとした活力は重要である。行政側もビジョンを共有し、ともに楽しみ、いかに柔軟で間口を広く持つかがポイントか。</p>  |
| 事業担当部・課       | 南魚沼地域振興局農林振興部 農村計画課 (TEL : 025-772-3914)   |

### 成功のポイント

#### 担当者が語る

- ・ 地域、NPO、行政ともに持続可能な社会へと向かう目的意識、新たな地域づくりへのビジョンを共有して、その目的実現へのチャレンジとしてともに事業に取り組めた。
- ・ 対等な立場で、新たな地域づくりに取り組む仲間として枠組みを超えてつながり、楽しみ、力を生かし合うことができた。



「風と土のフェスティバル」開催風景